

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要
事業開始年度 平成8年度
大項目 基本目標 06 健全で自立したまちづくり
中項目 基本施策 01 簡素で効率的な行政運営
小項目 施策 06 財政(契約監理関係)
事務事業名 02 検査事業
このシート作成に要した時間 4.0 時間

事業の目的
対象 (誰・何に対して) 市発注の工事等と受注者・工事担当職員
目的 (何のために) 市発注の工事等の適正執行と品質管理及びコスト縮減の推進
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか) 工事等により執行される市有施設の整備・維持管理における耐久性・利便性・安全性・経済性等の確保と請負者・担当職員の技術力向上

事業の実績
細事業名 事業の説明 優先度
コスト縮減計画関係事務 公共工事のコスト縮減のため4分野100項目による行動計画を策定し、この計画に基づき発注担当課が工事実施するよう協議調整する。
設計審査事務 工事等の設計書について、設計内容が適正に審査を行う。
工事等共通事項事務 工事等の設計・積算・施工における基準や内規の調整、技術者の資格要件・適正配置など建設業法に係る業者の指導。
検査関係事務 工事等について、設計書、仕様書等に基づき完成・出来高・中間検査を行う。

事業費等
直接事業費 0
必要人員 4.136人
事業費 4,136
国庫支出金 0
受益者負担金 0
繰入金 0
市債 0
その他() 0
一般財源 4,136
受益者負担比率 -

結果指標
結果指標量 194
対前年比 109.6%
活動コスト 2,224,000
単位当たりコスト 16,353

事業の成果
成果指標名 年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成24年度目標値
工事成績評定点 目標値(A) 80.7 81.2 81.7 82.2
実績値(B) 80 79.8 79.5 到達目標値
達成率(B/A) 99.13% 98.28% 97.31% 85

工事成績評定点は工事の施工管理や品質管理などの水準を顕す指標となるもので、さらなる施工技術や品質の向上を目指すため、平成19年度の実績値を元に10年間で85点到達できるよう目標設定している。

事務事業の評価
市の関与の妥当性 市の関与の妥当性 A
コスト削減 効果 B
目的達成度 市民参画度 B

進行年度(H24年度)の改革改善内容
状況 拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明 現状を維持しつつ、業者の技術力の向上指導及び工事の適切な評価方法を検討していく。

総合評価
本事業による公共工事等の品質確保とコスト縮減は、市民生活の向上と工事等の請負者・担当者の技術向上に寄与するものであり、事業執行部門から独立させた検査体制は公共工事等の適正執行に不可欠である。今後、公共工事等の品質確保とコスト縮減のさらなる向上を目指し、工事や業者の評価制度の見直しや体制の充実に努める必要があると考える。
総合評価 A

平成25年度の方向性・取組目標
方向性 拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標 成績評定制度の見直し、発注者別評価点の導入、外部委託等の別手法を模索し、先進地団体の制度調査や導入に伴うリスク及び効果などを研究していく。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定
事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価し、効果的な目標を設定する

Plan

Do

Check

Action